

I. 研究分野

開発経済学（労働・企業行動に関するもの）、労働経済学（企業行動に関するもの）

II. 研究分野（英語表記）

Development Economics (Labor/Firm), Labor Economics (Firm)

III. 修士課程学生の履修要件

- ・研究課題が私自身指導可能であること。
- ・研究者養成コースは上級ミクロ経済学と上級計量経済学、修士専修コースは中級ミクロ経済学と中級計量経済学（中級レベルを上級レベルで代替することは可）を M1 の時に履修すること。
- ・研究トピックは開発経済学か労働経済学（企業行動に関するもの）に限る。
- ・Stata で実証分析ができること。
- ・自分の研究したいトピックにおける講義履修状況を参考にします。

IV. 選考期間および方法

2025 年度は、（東大・一橋のクロスアポイントメント制度により）東京大学を主要な勤務先とするため、一橋での新規ゼミ生はほとんど受け入れない方針ではあるが、状況・テーマによっては若干名は受け入れ可。強く入ゼミを希望する新修士 2 年以上は 2025 年 2、3 月中にメールで連絡し相談すること。新修士 1 年は募集しない。

V. 指導方針

研究したいテーマの重要文献を報告してもらったり、研究の進捗の報告をしてもらいながら研究指導を進めていきます。

VI. 博士後期課程学生の履修要件

上級ミクロ経済学、上級計量経済学において B 以上の成績。

VII. 共同開講者に関するメモ

VIII. 詳細リンク先 URL